

静岡市のココが聞きたい

総括質問



平成30年9月26日、27日、28日の3日間、17名の議員が総括質問を行いました。質問の一部を抜粋してお知らせします。

清水庁舎移転候補地

質問者 内田 隆典 (共産党)

平成23年に発生した東北地方太平洋沖地震を教訓とし、また、国が実施した南海トラフ巨大地震の被害想定を踏まえ策定された静岡県第4次地震被害想定によると、清水庁舎の移転先を含むJR清水駅周辺は、津波により2～3メートルの深さの浸水が想定されており、同時に液状化の可能性も高く、火災によりほぼ全域が焼失する危険性も指摘される地域である。

移転先としてふさわしくなく、再検討すべきと考えるが、再検討の意向はないか。

【答弁】 有識者や市民の方々と構成される新清水庁舎建設検討委員会で十分に議論を尽くし、現計画地(清水駅東口公園)が妥当であると判断したため、移転先を再度検討する必要はないと考えている。

市民文化会館の再整備

質問者 松谷 清 (緑の党)

市民文化会館の再整備におけるホールとアリーナの複合化をどのように考えているか。

【答弁】 再整備に当たっては、これまで市民文化会館が培ってきた芸術文化の継承とともに、駿府城公園を中心とした歴史文化拠点の求心力を高めるための新たな機能として、隣接する中央体育館と連携した国際試合や大規模コンサートが可能なアリーナとの複合化についても検討しているところである。

現在、「駿府町地区文化・スポーツを核としたまちづくり検討委員会」を設置し、専門的かつ多角的な見地から議論をお願いしており、整備方針の決定に当たっては、検討委員会の意見を踏まえ慎重に判断していきたいと考えている。検討委員会には駿府町地区の将来を見据えた大局的な議論を深めていただきたいと考えている。

語句説明

静岡市市長顕彰

スポーツや芸術文化等で優れた成績を収めた者または団体の功績をたたえとともに、その収めた成績、活動等を市民に明らかにすることで、スポーツ・文化等の振興を図ることを趣旨とした表彰制度。

会派名

- 自民党＝自由民主党静岡市議会議員団
- 志政会＝志政会
- 公明党＝公明党静岡市議会
- 共産党＝日本共産党静岡市議会議員団
- 山と町＝「山と町」安全の会
- 緑の党＝緑の党グリーンズジャパン

さくらももこさんの市への功績

質問者 平井 正樹 (自民党)

漫画家さくらももこさんの市への功績をどのように捉え、また、それをどのような形で表すのか。

【答弁】 「ちびまる子ちゃん」などのさくらももこさんの作品は、国内はもとより海外でも広く読まれ、本市の認知度向上のみならず、作品の舞台を見るために多くの観光客が本市を訪れ、交流人口の増加につながったと認識している。

さらに、22種類のオリジナルイラストの制作などシティプロモーション事業にも惜しみない協力をいただき、本市のPRに大きく貢献していただいた。

そこで、その功績をたたえとともに、さくらももこさんに対する感謝の気持ちを表したいと考え、「静岡市市民栄誉賞」の授与を決定した。

語句説明

静岡市市民栄誉賞

スポーツ、文化等の分野において、広く市民に敬愛され、市民に明るい希望と活力を与えることに特に顕著な業績のあった方にその栄誉をたたえ、贈るもの。平成22年(2010年)に創設。さくらももこさんが初の受賞者となる。



さくらももこさんオリジナルイラストによるウェルカムフラッグ

生涯学習施設の利用方法見直し

質問者 望月 賢一郎 (共産党)

生涯学習センターと生涯学習交流館で異なっている利用者団体区分や施設使用料といった生涯学習施設の利用方法の見直しに向けたスケジュールについて、どのように考えているか。

【答弁】 各施設の利用団体等に見直しの説明を行った後、今年度中に関係条例案等を議会へ提出することを目指している。

制度の施行に当たっては、今回の見直しを受けて、使用料の半額負担等が生じることによる各利用団体の規約変更や、利用申請開始日の変更に伴う準備に配慮して、十分な周知期間を設ける予定である。

利用団体の皆さんには、できる限り丁寧な説明を行い、市民の皆さんのご理解が得られるよう努めていく。

頑張る子どもたちの活躍の周知

質問者 後藤 哲朗 (志政会)

芸術文化・スポーツの分野で頑張っている子どもたちの活躍をどのように周知していくか。

【答弁】 優れた個人・団体を静岡市市長顕彰で表彰するほか、子どもたちが成績報告のため市長を訪問する際、子どもたちの業績をたたえている。また、本市が後援する書道や絵画、将棋大会などの文化イベントに市長賞を交付している。これらの情報を報道機関へ提供し、新聞報道などを通じたPRに努めている。

今後は新たな試みとして、このような子どもたちの活躍の様子を本市公式SNSやホームページ等で広く発信したいと考えている。

子どもたちがより高い目標を持ち、将来に渡って芸術文化・スポーツ活動が積極的に行われるよう支援を続けていく。

小中学校へのエアコン導入の整備順序

質問者 加藤 博男 (公明党)

3年間ですべての市立小中学校の普通教室にエアコンを導入するとしているが、学校の整備順序をどのように決めるのか。

【答弁】 小学校から整備を始めるが、その具体的な整備順序については検討中である。

基本的には、できるだけ多くの児童生徒がいち早くエアコンを利用できるよう設置し、快適な教室環境を提供したい。

今後の実施設計の中で、各学校の児童生徒数や学級数、さらには工事の規模や内容などを総合的に勘案した上で、整備順序を決めていきたいと考えている。

現時点では3年間で整備する計画だが、国の予算編成の状況と事業者の人手確保の状況を踏まえつつ、できるだけ早期に着手していきたい。

学校預かり金の公会計化

質問者 山本 彰彦 (公明党)

学校預かり金について、他都市では公会計化しているところもあるが、本市ではどのように考えているか。

【答弁】 学校が独自に保護者から徴収する学校預かり金には、学校給食費のほか教材費や修学旅行積立金などの学年費がある。

その中で、学校給食費の取扱いについては、市立小中学校の現状や課題を整理するとともに、他都市の動向を把握している。30年度中に発表される見込みの文部科学省のガイドラインを踏まえ、本市にふさわしい制度をつくるための検討を進めていく。

その他の学校預かり金についても、文部科学省から先進的な事例の提示が予定されているため、国の動向を注視して、研究していく。

学校給食調理員の欠員対策

質問者 水野 敏夫 (志政会)

清水区の学校給食単独調理校等において、調理員の欠員が続く状況に対し、どのような対策を行っているか。

【答弁】 非常勤調理員は、合格者の辞退や応募者が募集定員を下回る等の理由により、26年度から不足する状態が続いている。

その募集は、公共施設等へのチラシ配架、広報紙への掲載、ハローワークへの求人票登録等の方法により周知している。

パートや臨時調理員の募集も同様の方法で周知するとともに、随時、応募者を受け付けている。加えて29年度からは、中央卸売市場や一部商業施設へのチラシ配布、求人情報誌への掲載などPR方法の拡大を行っている。

今後は、調理員から現場の意見を聞き、応募者が働きやすい勤務形態を用意する等、勤務条件の変更等を検討していく。

大学との連携による団地活性化

質問者 山梨 渉 (公明党)

市営住宅の空き家を活用し学生に貸し出すことで地域活性化につなげようとする試みが行われている例があるが、大学と連携した団地の活性化について、本市はどのように考えているか。

【答弁】 高齢化等がもたらす担い手不足によって、清掃や防災などの住民が支え合うコミュニティ活動が困難となることは、団地においても危惧されている。

こうした課題を解決するために、本市においても大学と連携し、学生の皆さんに団地のコミュニティ活動へ参画してもらうことは有効な手段であると考えている。

今後は、他自治体の先進事例に学ぶとともに、市内の大学などへ働きかけ、団地の住民と学生双方にメリットがあるような、入居の形態を含む参画モデルを研究していく。